コールセンター Q＆A

Q140

HIV 感染の可能性がある患者さんがいます。
どの項目をいつ検査したらいいでしょうか？

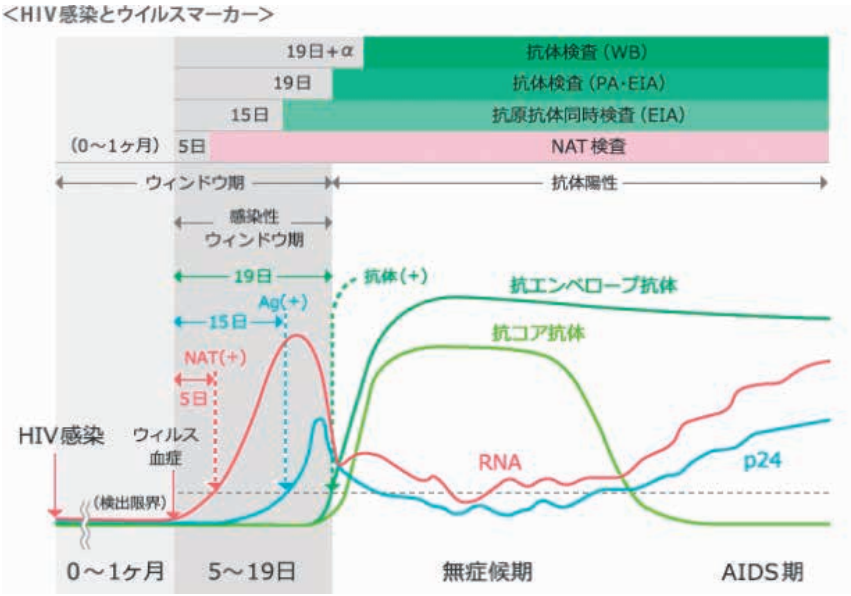
A140

HIV 感染の可能性があった１か月後に、HIV 抗原・抗体定性を検査されることをおすすめします。

HIV の感染が成立していても、感染初期では検査結果が陰性となる場合があります。これは、ウインドウ期と呼ばれる、「感染していても、検査では感染していることが分からない時期」があるためです。通常、感染１か月後くらいから HIV 抗体が検出されるようになるといわれています。

ただし、陰性と出ても、感染の可能性は低いものの、まだ感染している可能性が残っています。最終的には、HIV に感染した機会から３か月以上経ってからの再検査が必要となります。

※当検査センターの HIV スクリーニング検査は、以下の図の“抗原抗体同時検査（EIA）”に相当し、検査方法は CLIA になります。



※ NAT 検査とは、核酸増幅検査（Nucleic acid Amplification Test）のことで、血液センターなどで実施されている高感度の検査法です。

参考資料：エイズ予防財団　エイズ予防情報ネット
厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業　「HIV 検査受験干渉に関する研究」班

担当　検査科 生化･免疫係

＜広報委員＞ 石田 啓 / 石田 有里 / 新見 唯可

＊ウェブサイトでもご覧いただけます。　http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/

一般社団法人 広島市医師会 臨床検査センター
〒730-8611 広島市中区千田町３丁目８番６号
フリーダイヤル：0120-14-7191　FAX：082-244-0403
http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp